

APN 第 5 次戦略計画 (2020 年～2024 年) (仮訳)

タスクフォース議長及び APN 事務局長からのメッセージ

アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN) の第 5 次戦略計画 (2020-2024 年) を発表できることを光榮に思います。

第 5 次戦略フェーズでは、APN は引き続きパートナーシップを強化し、地域に根ざした研究とキャパシティビルディングを促進する活動を行ってまいります。地球規模の変化、特に現在の COVID-19 パンデミックという課題に鑑み、世界のコミュニティは国境や分野を越えて協力していくことの緊急性を認識しています。APN は、「より前進した復興」を目標に、より回復力があり、持続可能で、安全で、公平な、ポスト COVID-19 の世界を確立するための努力に貢献する準備ができています。

第 5 次戦略計画は、2020 年 7 月の新戦略フェーズ開始時に承認され、発表される予定でした。しかし、戦略計画の起草作業はパンデミックによって妨げられました。しかし、2021 年 2 月の第 24 回政府間会合において、この戦略計画が承認されました。

最後に、第 5 次戦略計画タスクフォースのメンバーに感謝の意を表します。彼らの貢献は、第 5 次戦略計画の策定に不可欠でした。

ラショナル (前文)

アジア太平洋地域は、世界の人口の半分以上を抱え、開発が急速に進む地域である。これらの願望開発を達成しようとする試みは、この地域の天然資源、コミュニティ、文化遺産の持続可能性に大きな負担をかけている。これは、自然および人為的变化に起因する地球の生物地球物理学的システムの変動によって、さらに悪化している。

しかし、科学者、政策立案者、実務家、一般市民は、さらなる課題があることを認識している。アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN) は、共同研究や能力開発活動、特に次世代の若手専門家を育成することを目的とした活動を支援することで、これらの地球規模の変化と持続可能性の課題に対処するための新たな知識の生成に貢献することができる非常に優れた立場にある。

APN は、20 年以上にわたり、多様な課題を特定し、それに対処することで、地球規模変動のアジェンダの形成に貢献してきた。APN は、IPCC、IPBES、UNFCCC パリ協定、国連持続可能な開発目標、災害リスク軽減のための仙台防災枠組、ポスト 2020 地球規模の生物多様性フレームワークなどの地域的・世界的なアジェンダとの連携を通じ、また、継続的な支援や支援サービスの提供を通じて、国際的な境界線を越え、科学者、政策立案者、その他の社会的利害関係者間の対話を促進することで、アジア太平洋地域のより持続可能な未来に向けて貢献し続けていく。

COVID-19 パンデミックの影響は、将来にわたってグローバル社会への挑戦となっている。世界の社会経済システムに影響を与え続ける一方で、気候変動や環境悪化は収まっていない。このため、気候危機をはじめとする新たな環境問題への取り組みが引き続き急務となっており、COVID-19 と相互に結びついた懸念事項となっている。また、持続可能な開発のためには、脱炭素化への移行による経済の回復が必須となっている。したがって、APN は、地球変動と持続可能性に関する研究・能力開発活動への支援強化を通じてより持続可能で強靱な社会の実現に貢献できる科学的知見を提供していく。

ビジョン

APN のビジョンは、ダイナミックで即応性のあるアジア太平洋地域社会を目標に、政策の立案と実施を支援する革新的で学際的な研究と能力開発活動を通じて地球規模の変化と持続可能性に効果的に対処し得る市民社会組織と民間セクターを目指すことである。

ミッション

APN のミッションは、アジア太平洋地域の地球変動の研究者、政策立案者、実務家、市民社会が、革新的で学際的なアプローチを通じて、結束力のある対話的なコミュニティを構築するのを支援することである。このミッションではアジア太平洋地域における地球の生命維持システムの変化とその持続可能な開発への影響に関する科学的調査を支援し、促進することが不可欠である。APN は以下のような活動を通じて、これらの調査の実現に貢献していく。

- ・ 研究と科学に基づく対応戦略の支援
- ・ 科学的成果を、各国のあらゆるレベルのガバナンスや社会セクターの政策メカニズムと効果的にリンクさせる
- ・ 影響を受けるコミュニティやその他の市民社会のメンバーを含む、政府の内外での科学的能力開発

地球規模の変化はすべての国に影響を及ぼしており、その影響と、その影響を測定し理解する能力は、異なる分野にまたがっていなければならない。したがって APN は地球規模の変化と持続可能性の対処を目標にすべての加盟国が積極的に参加し、様々な課題に全体的に取り組めるよう支援していく。

また、地球変動の影響に対処するためのイノベーションと応用科学の利用を加速させるためには、政府、民間部門、市民社会を結びつける能力がより追及されている。APN のサブ地域における民間セクターにおいて、研究成果やサービスを必要としている人々に提供することが役割となる。

理念

APN は、地球規模の変化の課題を克服し、持続可能性を達成するために努力する加盟国のネットワークとして、その活動と活動の指針として、以下の理念を採用する。

理念 1：加盟国の文化的、伝統的、政治的アイデンティティを尊重する。

理念 2：APN の活動を行う際には、オープンで敬意を持った対話と外交を行う。

理念 3：科学的な成果を適用する際には、科学的な整合性を保ち、専門家としての価値観と実践を遵守する。

理念 4：APN の活動と運営には加盟国が協力し合い、平等の精神のもと最大限の参加を目指す。

理念 5：APN の資源管理において倫理的で透明性のある管理を実践する。

目標

目標 1：研究

特にアジア太平洋地域に関連する地球変動と持続可能性の研究について、地域的・国際的な協力を支援する。

APN は、全体的かつ学際的な研究支援を通じて、パリ協定、SDGs、仙台防災枠組、ポスト 2020 年グローバル生物多様性フレームワーク、国連海洋科学の 10 年（2021-2030 年）等の国際的なアジェンダの実施に貢献するための科学的知見を生成するとともに、IPCC、IPBES などの科学的知見の蓄積に貢献することを目指す。

この目標の下で特に力を入れる活動の例としては、以下のようなものが挙げられる。

1. APN と類似の組織が優先度の高い共通トピックをテーマとしたプロジェクトを支援するため、新たな研究イニシアティブを模索する。
 - a. 世界気候研究計画 (WCRP) との連携強化、特に地域気候ダウンスケール調整実験 (CORDEX) とその主要なパイロット研究を通じた連携強化
 - b. 気候変動適応に関する関連プログラムを推進することにより、アジア太平洋適応情報プラットフォーム (AP-PLAT) への貢献
 - c. カーボンニュートラル社会の実現への貢献
 - d. 適応復興の概念の下での気候変動と災害リスク軽減の相乗効果
 - e. 特に国際機関との戦略的連携を通じた海洋プラスチックごみやマイクロプラスチックの問題への貢献
2. アジア太平洋地域において、ゼロカーボン都市を含む循環型エコロジー経済 (CEE)、自然をベースとした解決策、気候変動に強い農業、COVID-19 時代のより回復力のある社会への転換などの分野での活動を推進する。
3. APN が資金提供したプロジェクトの成果を統合的にまとめる活動を行う。
4. UNFCCC、IPCC、IPBES の議論や作業への貢献を強化する。
5. 特に太平洋地域において、地球変動と持続可能性の課題に関する研究を支援する。

目標 2：能力開発

地球規模の変化と持続可能性に関する研究に参加し、科学に基づいた意思決定を支援する能力を強化する。

APN は、研究には、若手専門家を含む科学者や、様々なレベルの他の社会グループのメンバーが参加することが理想的であると考えている。APN 加盟国が科学的根拠に基づいた政策を策定するためには、科学者の能力開発が不可欠である。

この目標の下で特に力を入れる活動の例としては、以下のようなものが挙げられる。

1. 特化した研究活動を通じて若手専門家への支援の取り組みを強化する。
2. 若手専門家の特定のニーズに応じた能力開発を提供するための取り組みを強化する。
3. 能力開発プログラム (CAPaBLE) の強化に向けた取り組みを継続する。
4. 社会との関連性の高いテーマについて、全体的かつ学際的な能力開発活動を展開する。

目標 3 : 科学と政策の相互作用

科学者、政策立案者、実務者、他の社会グループのメンバー間の相互作用を強化し、政策立案プロセスのために健全な科学情報を提供する。

APN は、様々な社会グループのメンバー間のコミュニケーションと情報交換を強化することを目指す。

この目標の下で特に力を入れる活動の例としては、以下のようなものが挙げられる。

1. スコーピング・ワークショップ、科学・政策対話などの議論・情報交換の場をつくり、事後のコミュニケーションや議論を継続・深化させるための活動をフォローアップする戦略計画を作成する。
2. 質の高い出版物を通じて、科学知見の提供と政策立案者による利用を強化する。
3. プロジェクトや活動のすべての段階でステークホルダーの参加を促す。

目標 4 : コミュニティへの参加

共通の関心を有する類似の組織や他のステークホルダーグループとのコミュニケーションと協働の強化を継続する。

APN は、力を合わせてインパクトを高めることの重要性を認識し、その活動のあらゆるレベルで、地球変動と持続可能性のコミュニティの他の組織とのコミュニケーションと協働を進めることを目指す。

この目標の下で特に力を入れる活動の例としては、以下のようなものが挙げられる。

1. 地球変動と持続可能性の科学と政策に関する新たなトピックについて、ステークホルダーのグループや類似組織とのコミュニケーションを図り、新たな共同活動の可能性を探る。
2. APN と他の国際的な研究機関との関係や資金調達メカニズムを見直すことにより、地球変動と持続可能性に関する重要事項の変化に対応できるよう備える。
3. 太平洋地域の関係機関との緊密な連携のもと、コミュニケーションを強化する。
4. サブ地域委員会の支援を得て、地域・サブ地域の政府間組織とのコンタクトを確立する可能性を探る。

目標 5 : APN とそのオペレーション

効率、耐久性及び公平性を追求し、APN とその活動をサポートできるような制度的、運営的、財政的基盤を強化する。

APN の成功と活動の継続は、加盟国の高いコミットメントと、ネットワークとしての強固な制度・運営基盤にかかっていることを認識している。

この目標の下で特に力を入れる活動の例としては、以下のようなものが挙げられる。

1. APN の機関とサブ機関のオペレーションのさらなる合理化を探る。
2. 運営コスト削減のための適切かつ現実的な目標を設定する。
3. 加盟国からの拠出金と民間部門を含む他の資金源によるバランスのとれた財政基盤を確保するための資金調達能力を開発する。
4. コストシェア型のパートナーシップ活動の選択肢を検討する。

コミュニケーション、普及及びアウトリーチ

上記の目標を達成するため、APN は、社会の多様なステークホルダーに届くようなコミュニケーションやアウトリーチに努め、例えば、以下のような方法で、ステークホルダー間の効果的な情報交換や対話に貢献できるような活動を行う。

1. アウトプットの種類を多様化し、テレビ会議やウェビナーなどのデジタル技術の活用を進めることで、社会のさまざまなレベルでの対話を促進し、ステークホルダーの意識を高めていくためのアウトリーチ戦略を改善する。
2. 制作されたアウトプットについて、オーディエンスからのフィードバックを測定し、収集する仕組みを設計し、実施する。
3. APN の活動を説明するための質の高い出版物の開発と普及を継続する。

モニタリングと評価

APN の活動の成果を評価することが重要であるとの認識のもと、第 5 次戦略フェーズでは指標を設定し、その成果を監視・評価する仕組みを策定する。

モニタリングと評価の対象分野

APN は、研究、能力開発、科学と政策の相互作用、コミュニティの関与、APN とそのオペレーション、の 5 つの目標に照らして、その活動をモニタリング・評価する。これら 5 つの目標のそれぞれに対するコミュニケーション、普及及びアウトリーチにおける APN の効果についても、モニタリングと評価のために必要不可欠な領域である。

パフォーマンス指標

APN は、その業務をモニタリング・評価するための現実的な指標を策定する。適切かつ合理的な場合には、パフォーマンスを定量的に測定するための指標を策定する。

戦略的なモニタリングと評価のための強固な計画の策定

APN は、モニタリングと評価に必要な体制とタイムラインを含む現実的な戦略を策定する。

謝辞

APN は、第 5 次戦略計画の策定に尽力したタスクフォースのメンバーに深い感謝の意を表します。さらに、APN の活動を献身的かつ継続的に支援していただいた各国のフォーカルポイント (nFP)、科学企画グループ (SPG) 及び能力開発委員会 (CDC) のメンバー、並びに招聘専門家の皆様に心より感謝を申し上げます。